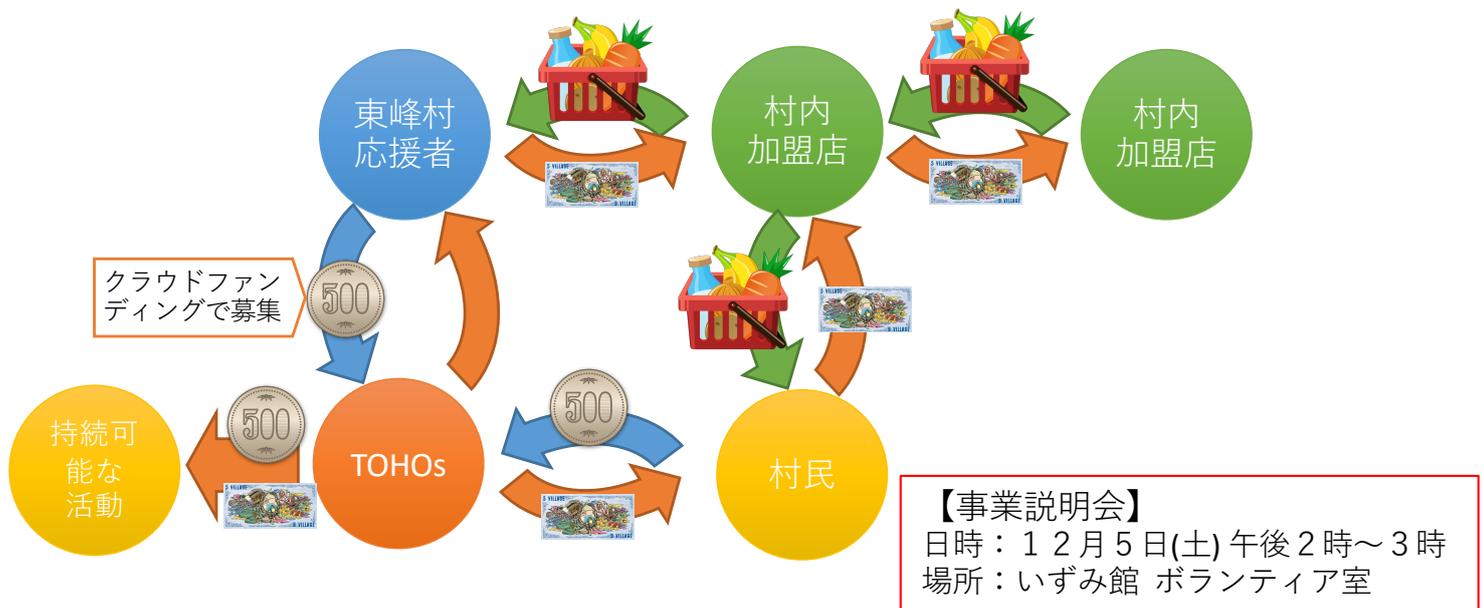


地域通貨（とほっぴマネー）を導入して一緒に東峰村の自律を考えませんか？



2017年7月「九州北部豪雨」から3年経過した東峰村。復旧・復興にはたくさんの外部からの支援をいただいてきましたが、今後、地域が自律していくためには地域経済の新しい仕組みを考えなければなりません。そこで、東峰村版地域通貨【通称：とほっぴマネー／単位：village（ビレッジ）】を試験運用し、地域内を通貨が循環することで、「新たな村の付加価値」を生み出す取り組みを行います。また、運用を継続していく中で、運用益を里山の保全や伝統・文化の保存等の村の持続可能な活動にも役立てたいと考えております。

東峰村版地域通貨イメージ図 （中小企業庁「JAPANブランド育成支援等事業」を活用）



運営主体：**TOHOs**（とーほーず）
代表 柳瀬 弘光 副代表 高橋 弘展

TOHOs（とーほーず）のsには、SDGsを意味とサステナブル（Sustainable）、すなわち「持続可能な」という意味が込められています。